

## 6 局 区 別 予 算

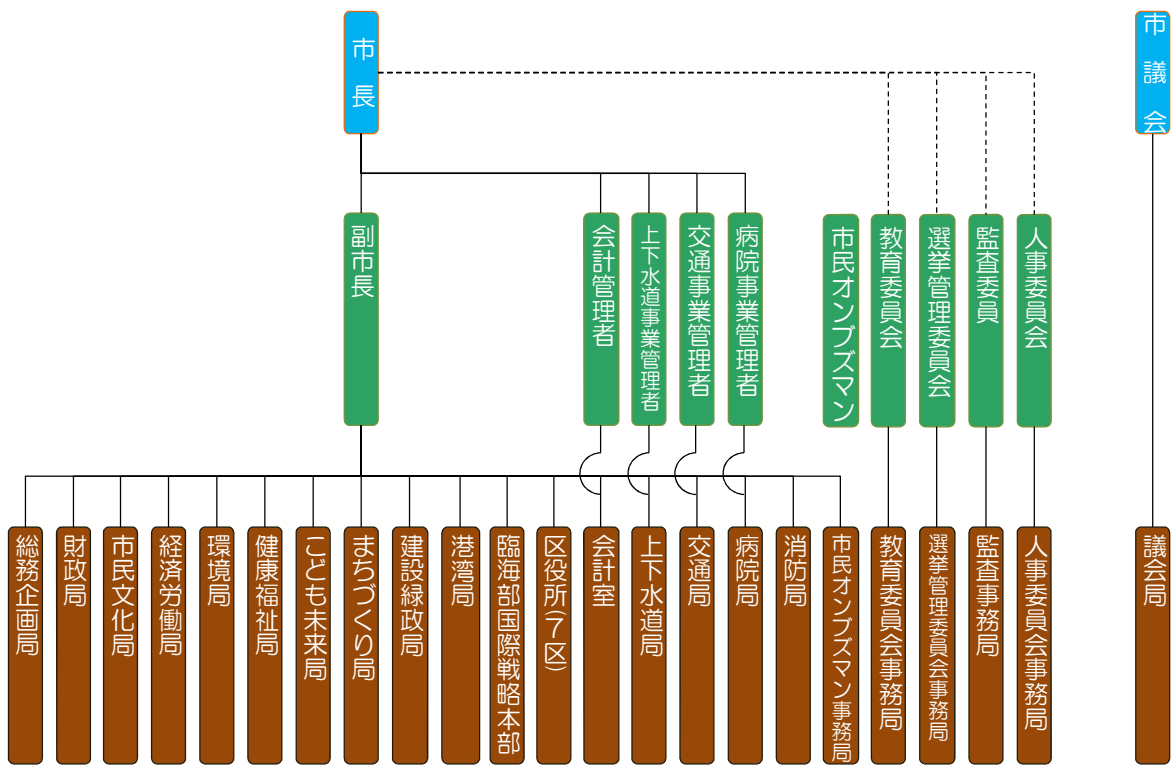
市長は、その権限に属する仕事を分担するため、条例で局という内部組織を設けています。

また、市民の皆様と密接に関連する業務については、市内の区域を分けて区役所を設けています。

ここでは、主要な事務事業を所管する局区別に、主な事業をご紹介します。



### 組 織 図



# 総務企画局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2045 内) 21301

40,097,005千円

(対前年度比: +1.1%)

## <主な事業>

### 災害・危機事象に備える対策の推進

#### 地域防災力強化の推進

226,456千円

- 地域住民や地元企業、消防団等が主体となる自助・共助（互助）による実践的な防災訓練を全区で実施し、地域防災力の向上を図ります。（拡充）
- 自主防災組織への活動費助成や防災資器材の購入費補助を行います。（拡充）
- 市民啓発の充実強化により、市民の防災意識の向上を図ります。（拡充）

#### 防災施設整備の推進

1,390,316千円

- 災害発生時における強靱かつ安定した情報通信網を維持するため、市役所と区役所、他自治体等との間の通信手段となる多重系・衛星系無線を再整備するとともに、災害情報等の市民への情報伝達機能の向上を図るため、同報系無線の屋外受信機の増設や戸別受信機の更新を行います。



#### 本庁舎等建替えの取組

463,408千円

- 新本庁舎の基本・実施設計及び環境影響評価手続を進めます。基本設計の完了は29年度、実施設計及び環境影響評価手続の完了は30年度を予定しています。
- 現本庁舎は、大規模地震発生の際には倒壊の危険性があるため、建物の解体工事（地上部分のみ。地下部分は、新築工事を行う際に基礎工事と併せて解体）を進めます。完了は29年度を予定しています。

### ICT(情報通信技術)の活用による市民利便性の向上

#### かわさきアプリの運用及びかわさきWi-Fiの利用エリア拡大

32,731千円

- 必要な情報を必要とする人への確かつタイムリーに提供するスマートフォン用アプリケーション「かわさきアプリ」の安定的な運用及び機能改善を図ります。
- 行政施設等への公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備、鉄道駅や商業施設等、民間事業者と連携し事業者が整備したWi-Fi環境を活用して「かわさきWi-Fi」の利用範囲の拡大を図ります。（拡充）
- 新たな市民サービスやビジネス創出等につなげるため、オープンデータの提供数を増やすとともに、民間事業者との効率的なデータ流通が図れるよう取組を進めます。



#### ネットワークの強靱化及び情報システムの基盤整備

1,546,753千円

- 高度標的型攻撃等の様々なリスクが発生している中でも、市民に対して安全で安定的なサービスを提供するため、システム環境の更なるセキュリティ強化や、高度なセキュリティ対策が講じられた神奈川情報セキュリティクラウドを利用したネットワーク運用を行います。（拡充）
- 行政の効率化や市民の利便性を高めるため、庁内の情報システムを確実に運用するとともに、各情報システムの連携を担うシステム連携基盤についてマイナンバー制度の安定的な運用に向けた改修を行います。

## 都市イメージの向上とシビックプライドの醸成

### シティプロモーションの推進

35,308千円

- 民間事業者等との連携により地域資源の掘り起こしや魅力づくりに取り組むとともに、様々なメディアを活用して川崎の魅力を市内外へ戦略的に情報発信します。また、メディアコーディネーターを活用することで各施策に関するプロモーションを底上げし、市役所全体で都市イメージの向上を図ります。
- 「川崎市シティプロモーション戦略プラン」に基づき、ブランドメッセージを活用すること等により、都市ブランドの強化とともにシビックプライド（市民の川崎への愛着や誇り）の醸成を目指します。



ブランドメッセージ

### 国際交流の推進

53,174千円

- 姉妹・友好都市として提携している海外8都市との文化芸術・経済・環境・教育等、幅広い分野での交流をはじめ、相互の発展につながる互恵的な関係の構築に向けて、海外諸都市等との交流を推進します。
- クロアチア共和国・リエカ市との姉妹都市提携40周年記念事業として、両市の市長による相互訪問等を行います。

## 迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進

### 区民車座集会等の実施

133,401千円

- 市長が直接区民の方々から意見を聞く「区民車座集会」の実施や「市長への手紙」、市政に関する問合せ・意見・相談等を一元的に受け付けるコンタクトセンターの運営等、様々な方法で市政に関する声を広く聴取し、市政運営に活かします。また、市政に対する市民の意識を多面的に調査する「かわさき市民アンケート」を実施します。

### 魅力ある広報の推進

381,775千円

- 市政だよりやホームページ等の各種広報媒体を活用して、市政情報を効率的・効果的に市内外に発信します。
- テレビ・ラジオ等を活用して、川崎のさまざまな話題、イベント情報、行政情報等を市内外に発信します。

## 川崎市総合計画 第2期実施計画の策定に向けた取組

### 第2期実施計画の策定

37,059千円

- 「川崎市総合計画」は私たちの「まち」川崎をもっともっと住みやすくするための方針や取組のすべてを網羅した計画です。川崎市総合計画に掲げられている「めざす都市像」や「まちづくりの基本目標」の実現に向け、取り組む施策の具体的内容や目標を定める第2期実施計画（30～33年度）を29年度に策定します。
- 市政だより特別号やパブリックコメントなど、計画の策定段階に合わせて、市民の皆様にわかりやすく情報を発信します。
- 第1期実施計画（28及び29年度）での取組の成果を測り、その結果を第2期実施計画に反映させるため、市民生活やまちづくり等に関してアンケート調査を実施します。



# 財 政 局

## <予 算 額>

問合せ先:庶務課 200-2175 内) 24101

**6,015,493千円** (対前年度比: +1.0%)

## <主な事業>

### 資産マネジメントの取組の推進

43,216千円

○将来的な財政負担の縮減や行政ニーズの変化に的確に対応していくため、本市の公共施設等総合管理計画「かわさき資産マネジメントカルテ」に基づき、施設の最適な維持管理や活用、E S C O事業の導入によるライフサイクルコスト削減等の取組を推進します。

- ・ 予防保全による施設の長寿命化の推進
- ・ 広域的観点及び施設単体の使用価値・市場価値の観点からの資産保有の最適化の推進
- ・ 多様な効果創出に向けた財産の有効活用の推進

※本予算は事務経費であり、資産マネジメントに係る具体的な各局の予算については、97ページ以降で御紹介します。

### 税務事務の運営及び市税収入確保に向けた取組の推進

1,003,731千円

○マイナンバー制度や個人住民税の特別徴収完全実施化への的確に対応するなど、適正・公平な税務行政を推進します。

○大規模災害発生時のり災証明書発行のための建物被害認定調査及び固定資産税事務の迅速な実施に向けて、地番情報地図データの作成を行います。(新規)

○クレジットカード納付制度の早期の導入など、納税者の利便性の向上とより一層の市税収入確保に向けた取組を推進します。(拡充)

## IR(投資家向け広報)の取組

市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備のために必要となる資金の一部を借り入れるため、定期的に「川崎市債」を発行しています。

市債を安心してご購入いただくためにも、個人投資家向けの「市債投資セミナー」や機関投資家向け説明会の開催、IRニュースの発信、ホームページにおける情報提供などにより、市の取組や財政状況、市債に関する情報を積極的に発信しています。

### 川崎市ホームページ「投資家情報(IR)」

川崎市 投資家情報

検索

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

QRコード



QRコード対応の携帯電話やスマートフォン等からご覧いただけます。



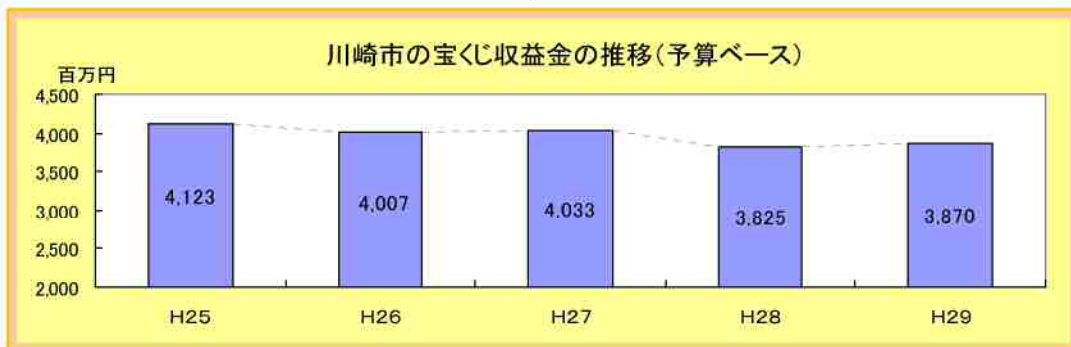
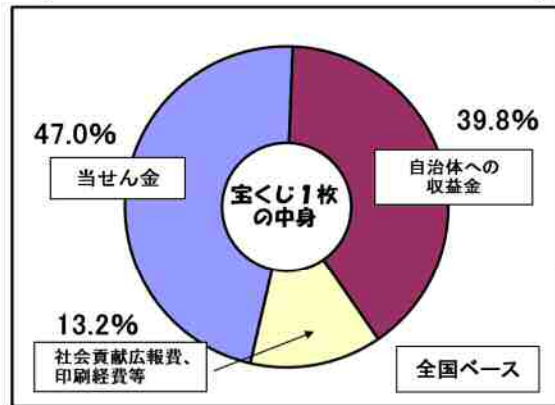
川崎市 IR ニュース  
市債発行や投資セミナー開催時を中心に月1回程度発行

## 宝くじ収益金について

宝くじは、販売実績の40%程度が自治体への収益金となり、発行・発売団体である全国47都道府県、20政令指定都市それぞれの売上げに応じて配分されます。

宝くじ収益金は、公共事業等に充てるものとされ、本市では、小児医療費の助成、妊婦健康診査事業や、公園施設の改修などの身近なまちづくりに役立っています。

〔宝くじ1枚の中身(27年度決算)〕



### 29年度 宝くじ収益金を充当する主な事業

生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり 約13億円

○予防接種事業

○がん検診事業

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり 約14億円

○小児医療費の助成

○妊婦の健康診査

市民生活を豊かにする環境づくり 約5億円

○公園施設の改修

○資源物の分別収集

活力と魅力あふれる力強い都市づくり 約6億円

○芸術文化の振興

○多摩川を活用したスポーツ大会の開催

宝くじのお買い求めはぜひ川崎市内で!

# 市民文化局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2255 内) 26101

**20,495,025千円**

(対前年度比: +165.8%)

## <主な事業>

### 防犯対策の推進

#### 安全・安心なまちづくりの推進

655,439千円

○地域における防犯カメラの設置を支援します。

○地球環境負荷や維持管理等に関わる負担の軽減などを図るため、「防犯灯LED化ESCO事業」に取り組みます。(新規)

○防犯意識の高揚・啓発や犯罪防止に向けて、かわさき安全・安心ネットワークシステムを構築し、地域の犯罪情報等の一元化を図り、迅速な情報配信を行います。(新規)

### 交通安全対策の推進

#### 交通安全対策の推進

57,429千円

○広報・啓発活動などを通じ、市民、交通安全関係団体、警察、行政等が協働・連携して、交通事故のない安全で住みやすいまちの実現を目指します。

### 市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり

#### 市民参加の促進と多様な主体による協働・連携の推進

17,802千円

○協働・連携ポータルサイトの運営、人材マッチング事業の実施など、自分たちのまちを自分たちでつくるための持続的な活動に向けた環境整備を行います。

○若者をはじめとした多様な世代・立場の市民による市政への参加促進に向けた取組を進めます。

○参加と協働によるコミュニティ推進施策について検討を進めます。

#### 町内会・自治会、市民活動団体、NPO法人などの活動支援

260,584千円

○地域で様々な課題に取り組んでいる市民を応援するため、市内の中間支援組織と連携しながら、それぞれの市民活動の継続・発展に必要な人材の育成・参加促進、資金調達、活動場所の確保、情報発信等に向けた支援を実施します。

### 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進

#### 人権施策の推進

37,887千円

○人権を尊重し、共に生きる社会を目指して、平等と多様性(ダイバーシティ)を尊重しながら人権施策を総合的に推進します。

○ヘイトスピーチの解消に向けて、アゼリアビジョン等を活用し、啓発活動を重点的に実施します。(拡充)

### 男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進

#### 男女平等施策の推進

10,425千円

○男女があらゆる場において、男女平等に関わる人権の侵害を受けることなく、自立して共に働き、学び、暮らすことができる男女共同参画社会の形成に向け、働く場における女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの推進等の取組を進めます。

## 市民の文化芸術活動の振興

### 市民文化活動の支援

447, 294千円

○東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機として、誰もが暮らしやすいまちづくりに向け、文化芸術に親しめる環境づくりを推進します。(新規)

○高津区出身の詩人・童謡作家である故小黒恵子氏から遺贈を受けた小黒恵子童謡記念館を4月1日に再開館し、「童謡文化体験の場」と「地域の憩い、交流の場」として活用します。(新規)

## 音楽や映像のまちづくりの推進

### 音楽のまちづくりの推進

81, 036千円

○「音楽のまち・かわさき」推進協議会等の多様な活動団体と協働・連携しながら、幅広い世代が身近に音楽を楽しめる環境づくりを進め、まちに音楽があふれ、豊かな心を育む、「音楽のまちづくり」を推進します。



かわさきジャズ

### 映像のまち・かわさきの推進

32, 808千円

○「映像のまち・かわさき」推進フォーラムを中心として、市内の豊富な映像資源による活動を促進するとともに、市民が映像に親しむ機会の創出とまちの魅力を発信することで、本市の魅力を高め、映像文化の振興を進めます。

## スポーツのまちづくりの推進

### 市民スポーツの推進

75, 420千円

○スポーツ関係団体と連携し、多くの方が気軽に参加できる各種スポーツ事業を実施するとともに、障害者スポーツ大会の開催や、スポーツセンターにおける障害者のスポーツ参加機会の拡充など、障害者スポーツの普及促進のための取組を進めます。(拡充)

### スポーツを活用したまちづくり

104, 212千円

○かわさきスポーツパートナーと連携したふれあい教室の開催、公式戦への市民招待の実施、多摩川を活用したマラソン大会の開催など、スポーツを「する・観る・支える」場の充実を図り、市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じた本市の魅力を高めるまちづくりを推進します。

### スポーツ・文化総合センターの整備・運営

14, 058, 035千円

(28年度補正予算対応 136, 869千円)

○スポーツ・文化総合センターを10月1日に開館し、スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化を図るとともに、コンベンションや各種イベントなどの多目的な市民の活動に対応できる施設として整備・運営します。(拡充)【補正含む】



スポーツ・文化総合センター

### 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

59, 809千円

○「かわさきパラムーブメント」の理念の浸透に向けた広報、第2期かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定、各種プロジェクトの展開など、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機とする誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。また、英国代表チームの事前キャンプ受入れの準備や英国との交流を推進します。(拡充)

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 経済労働局

<予算額> 問合せ先:庶務課 200-2320 内) 28101

27,361,131千円 (対前年度比:△14.7%)

## <主な事業>

### 防犯対策の推進

消費生活の安全の推進 86,161千円  
○消費者行政推進計画に基づき、様々な消費者トラブル等に関する啓発・相談を実施します。

### 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

農業への理解の促進 18,840千円  
○市民農園をはじめとした、ふれあい事業を通じて、「農」と交流する機会の確保を図ります。

### アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

経済の国際化への対応の推進 51,483千円  
○川崎市海外ビジネス支援センター(KOBS)により企業の海外展開をワンストップで支援するとともに、海外現地でのビジネス支援拠点の増強を図ります。(拡充)

環境産業のグローバル化の促進 41,800千円  
○川崎国際環境技術展の開催や行政、民間企業等とのネットワークである「かわさきグリーンイノベーションクラスター」を通じて環境技術の発信及び海外移転を推進します。

### 魅力と活力のある商業地域の形成

地域特性に応じた活力ある商業振興の推進 320,652千円  
○川崎駅周辺地区などの商業エリアにおいて、ブランド力のある商業集積地を形成する取組を行うとともに、新たなイベントの開催を支援し、更なる集客と賑わいの創出を図ります。(拡充)

### 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

ものづくり技術の高度化及び販路拡大・開拓の推進 43,090千円  
○新技術・新製品開発等への支援に加え、展示会への出展等、販路拡大に係る支援を実施します。  
○ICT産業と他産業の連携を促進し、ICTの活用促進の機運醸成を図り、市内中小企業の新たなビジネスモデルの構築、産業の活性化に向けた環境整備を実施します。(新規)

中小企業の経営安定の支援 23,285,004千円  
○信用保証料補助について、新たに設備強化支援資金を対象とするほか、創業支援資金の補助率を引き上げます。(拡充)

○各種資金を低利で融資する中小企業融資制度について、一部対象を拡大します。(拡充)

戦略的な産業立地誘導の推進及び企業の立地・活動環境の向上 283,242千円  
○市内の準工業地域及び工業地域において、中小製造業者が工場等を増設する事業に対する支援を実施します。また、近隣の住環境との調和を図るため、防音・防振・防臭対策等の操業環境の改善に向けた取組に対する支援を実施します。(新規)

○臨海部の対象地域において、中小企業が先端技術を事業化するための事業所新設に対して支援を実施します。



## 都市農業の強みを活かした農業経営の強化

### 健全な農業経営の推進と創造

122,961千円

○企業や大学等の多様な主体との連携を促進し、新たな農業価値の創造を図ります。

## ベンチャー支援、起業・創業の促進

### ベンチャー支援・新産業支援の推進

125,178千円

○ベンチャー企業に対する成長支援及びかわさき新産業創造センターの改修工事を行います。

## 地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援

### ウェルフェアイノベーションの推進

46,054千円

○ウェルフェアイノベーション推進計画に基づき、専門コーディネーターを配置するなど、フォーラム参加者間のマッチングによる福祉分野の製品開発・サービス創出の支援を実施します。

### ソーシャルビジネスの振興

5,675千円

○相談窓口や講座、交流会、情報発信等により、ソーシャルビジネスの起業・経営を支援します。

## 科学技術を活かした研究開発基盤の強化

### 先端科学技術の振興及び産業活動・交流の促進

896,605千円

○新たな科学・技術や産業を創造する研究開発拠点「新川崎・創造のもり」において、ナノ・マイクロ技術を核とした産学連携支援等に取り組むとともに、創造のもり事業の集大成として、新たな産学交流・研究開発施設の整備を推進します。



産学交流・研究開発施設

○オープンイノベーション促進のための交流拠点の形成を図るため、「川崎市コンベンションホール」の30年度供用開始に向けた内装工事を進めるとともに、備品等の整備、予約受付、広報・PR等の準備を実施します。

## 人材を活かすしくみづくり

### 産業人材の育成と活用及び就業の支援

74,840千円

○キャリアサポートかわさきによる総合的な就業支援、コネクションズかわさきによる職業的自立支援を実施します。

○経済団体及び学校と連携して、人材育成セミナー、企業と学校との情報交換会、求職者向け企業訪問ツアー等を開催し、産業人材の確保・育成を図ります。(拡充)

## 川崎の特性を活かした観光の振興

### 観光・集客型産業の育成及び観光資源の創出・育成

161,089千円

(28年度補正予算対応 31,700千円)

○観光協会や民間事業者等と連携し、新たな旅行商品などの開発支援やSNSによる情報発信などのプロモーション活動を行い、市内観光の振興を図ります。(拡充)

○インバウンド戦略の効果的な取組を推進するため、外国人観光客動態分析及び有識者等によるワークショップなどを実施します。(拡充)

○JR川崎駅北口自由通路の供用開始に合わせ「(仮称)川崎駅北口行政サービス施設」において、本市の多彩な観光資源の魅力発信を行います。(新規)【補正含む】



川崎工場夜景

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 環境局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2375 内) 29101

19,807,674千円

(対前年度比: +3.5%)

## <主な事業>

### 地球環境の保全に向けた取組の推進

#### 地球温暖化対策の推進

81,449千円

○「地球温暖化対策推進計画」等に基づく取組を推進します。

- ・ C C川崎エコ会議など市民、事業者とのネットワークを活かした協働の取組
- ・ 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド、川崎メカニズム認証制度による低炭素技術の普及促進
- ・ 事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度などによる事業者の環境配慮の促進
- ・ 国内外の動向を踏まえた「地球温暖化対策推進計画」の改定
- ・ 国や近隣自治体と連携した次世代自動車（燃料電池自動車、電気自動車等）の普及促進
- ・ 市民生活におけるエコドライブ普及の取組



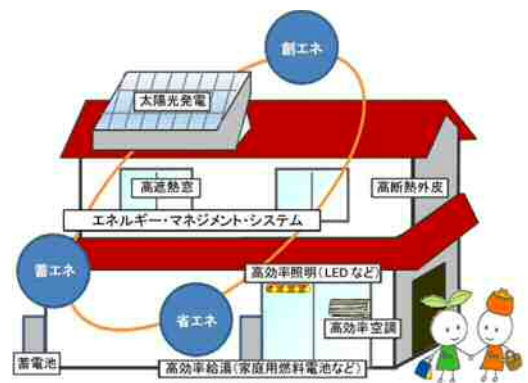
燃料電池自動車（市公用車）展示の様子

#### 環境エネルギー施策の推進

89,921千円

○「川崎市エネルギー取組方針」に基づき、創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組を推進します。

- ・ 家庭部門における地球温暖化対策をさらに推進するため、エネルギー管理装置と併せて導入する太陽光発電、家庭用燃料電池、蓄電池や建物全体でエネルギーを効率的に利用するネットゼロエネルギーハウス（ZEH：ゼッチ）の導入を支援
- ・ 中小規模事業者が実施する省エネルギー設備の導入などエコ化の取組を支援
- ・ かわさきエコ暮らし未来館や川崎大規模太陽光発電所を活用した普及啓発



ZEHのイメージ

#### グリーンイノベーションの推進

17,996千円

○「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」に基づく取組を推進します。

- ・ 環境技術を活かしたグリーンイノベーションの取組
- ・ 展示会への出展などによるグリーンイノベーションの取組の発信

#### スマートシティの推進

9,616千円

○「川崎市スマートシティ推進方針」に基づく取組を推進します。

- ・ エネルギーの最適利用とICT・データの利活用によるスマートシティの実現に向けた取組

## 地域環境対策の推進

### 公害防止対策事業の推進

159,951千円

○大気環境改善に係る取組を推進します。

- ・低公害車の普及、環境に配慮した運搬（エコ運搬）などによる自動車排出ガス対策
- ・工場及び事業場の監視、指導などによる排出量削減対策
- ・事業者による自主的なVOC（揮発性有機化合物）削減対策

## 持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進

### 減量リサイクルの推進

235,090千円

○ごみの減量化・資源化に向けた取組を推進します。

- ・普及啓発・環境学習の継続実施
- ・資源集団回収事業の実施
- ・生ごみの減量化・リサイクルの取組
- ・資源物の拠点回収事業の実施
- ・地域環境美化の推進



かわさき3R推進キャラクターかわるん

### 資源物・ごみ収集事業の推進

3,065,325千円

○ごみの減量化・資源化に向けて、効率的・効果的な収集運搬体制の構築を図ります。

- ・空き瓶、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装、空き缶・ペットボトル（多摩区、麻生区は29年度から開始）等、収集運搬業務委託を全市で実施

### 資源物・ごみ処理事業の推進

4,114,441千円

○ごみの適正かつ安定的な焼却処理を引き続き実施します。

○空き缶、ペットボトル、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装など資源物の資源化処理を委託により引き続き実施します。

○放射性物質が検出され、一時保管を行っているごみ焼却灰については、実証実験の結果を踏まえ、試験的埋立を実施します。（拡充）

### 廃棄物処理施設等の整備

2,148,225千円

○廃棄物処理施設等を安定的に稼働させるための予防保全的な補修・整備を実施し、長寿命化を図ります。

- ・浮島2期廃棄物埋立処分場の基幹的整備
- ・南部リサイクルセンターの基幹的整備
- ・浮島処理センターの基幹的整備の計画策定（新規）

○廃棄物処理を適正かつ安定的に行うため、処理施設等の建替計画を推進します。

- ・橘処理センターの建替えに向けた解体撤去工事の実施及び建設工事の着手
- ・堤根処理センターの建替えに向けた基本計画作成の着手（新規）
- ・入江崎クリーンセンターの移転に向けた基本計画作成等の着手（新規）



橘処理センター

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 健康福祉局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2615 内) 32101

141,016,613千円 (対前年度比: +0.9%)

## <主な事業>

### 総合的なケアの推進

#### 地域包括ケアシステムの推進

20,834千円

○川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向けて、29年度に改定する地域福祉計画や地域医療計画、いきいき長寿プランなど、保健医療福祉分野における事業計画に「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の考え方を反映させるとともに、ポータルサイト等を活用し、情報を幅広く発信することで、市民や事業者、関係機関・団体等の理解度の向上を図ります。

#### 認知症高齢者対策事業の推進

41,069千円

(介護保険事業特別会計 10,319千円)

○認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、歯科医師及び薬剤師を対象とした認知症対応力向上研修の実施や、「認知症初期集中支援推進事業」についてモデル実施区を拡大します。(拡充)

・幸区 → 幸区、高津区、麻生区

### 自立生活に向けた取組の推進

#### 生活保護自立支援対策事業の推進

254,456千円

○生活保護受給世帯の子どもに対する学習支援の実施場所を8か所から11か所に増やし、利用の拡大を図ります。(拡充)

#### 生活保護業務

60,937,627千円

○生活に困窮する市民に対して、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障することを目的に、生活保護費を支給します。また、レセプトデータ分析を実施するなど、医療扶助費の適正化を図ります。

#### 生活困窮者自立支援事業の推進

182,460千円

○主に失業により経済的に困窮している市民に対し、早期に困窮状態から脱却できるよう経済的・社会的自立に向けた支援を行います。

### 高齢者福祉サービスの充実

#### 高齢者の多様な居住環境の整備

2,170,810千円

○介護の必要性が高い要介護高齢者の将来的な増加を踏まえ、特別養護老人ホーム等の介護サービス基盤の整備を進めます。

○特別養護老人ホームにおける、入居者のプライバシー保護のための改修を支援します。(新規)

○要介護高齢者の在宅生活を支えるケアの中核となる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「(看護)小規模多機能型居宅介護」等の、地域に密着した介護サービスの整備を進めます。

#### かわさき健幸福寿プロジェクト

25,263千円

○要介護度等の改善・維持の成果を上げた介護サービス事業所に報奨金等のインセンティブを付与する「かわさき健幸福寿プロジェクト」を実施し、取組意欲の向上を促します。

## 高齢者が生きがいを持てる地域づくり

### いこいの家・いきいきセンターの運営

810,920千円

- 高齢者の心身の健康増進を図るため、いこいの家やいきいきセンターを管理・運営します。
- 多世代交流の促進に向けた、こども文化センターとの連携モデル事業を推進します。
- 多世代交流を促進し、高齢者の生きがい・健康づくりの場や青少年健全育成の場ともなる地域コミュニティのための拠点づくりに向けた取組を進めます。

## 障害福祉サービスの充実

### 障害福祉サービスの基盤整備事業の推進

263,326千円

- 公設民営の障害児者福祉施設の改修工事を行うなど、施設の老朽化への対応に取り組みます。
- 特別養護老人ホームに併設する障害者短期入所事業所を整備します。

## 障害者の自立支援と社会参加の促進

### 精神保健事業の推進

11,448千円

- 精神障害者の地域における生活を支えるために、区役所等において相談支援を行います。
- 措置入院中から退院後まで、切れ目ない継続的な支援体制を構築します。(新規)

## 健康で快適な生活と環境の確保

### 予防接種の実施

4,060,610千円

- 各種定期予防接種を実施し、感染症の予防及びまん延の防止を図ります。

### 動物愛護事業の推進

550,321千円

- 「ひと・どうぶつMIRAIプロジェクト」の推進等、動物愛護施策に取り組みます。
- 人と動物の共生する社会を実現するため、動物愛護と適正な飼養に係る普及啓発の拠点として動物愛護センターの再編整備を行います。(30年度完成予定)

## 医療供給体制の充実・強化

### 救急医療体制の確保

1,211,444千円

- 休日や夜間における診療や重症・重篤患者に対する医療を適切に提供し、周産期医療を含めた救急搬送患者の円滑な受入体制の確保等を図ります。
- 休日(夜間)急患診療所事業を川崎市医師会に移管し、より良質な医療サービスの提供と柔軟で効果的な診療体制の構築を進めます。また、中原休日急患診療所については、新たに建設される新医師会館内へ移転します。(拡充)



## 生き生きと暮らすための健康づくり

### がん検診等の実施と受診勧奨

2,393,358千円

- 政令市トップレベルのがん検診受診率を達成するため、コールセンターや成人検診業務管理システムを活用した個別の受診勧奨の実施により受診率の向上を図ります。

### 健康づくりの取組

108,654千円

- 若い世代への健康づくりの動機付けを図るため、妊婦とそのパートナーを対象に、歯科健診を含めた総合的な健康づくりの取組として「歯っぴーファミリー健診事業」を実施します。(新規)

# こども未来局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-3733 内) 43101

**104,384,563千円** (対前年度比: +9.4%)

## <主な事業>

### 子育てを社会全体で支える取組の推進

#### 地域における子育て支援の推進

471,887千円

○地域や社会全体で子育て家庭を支援するため、地域子育て支援センター事業やふれあい子育てサポート事業等を実施します。

○27年度及び28年度評価の結果や本市の子ども・子育てを取り巻く状況等を踏まえながら、子どもの未来応援プランの中間評価を実施し、30年度以降の計画について見直しを行います。

#### 小児医療費の助成

4,597,308千円

○子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、29年4月から通院助成の対象年齢を小学校6年生まで拡大します。小学校4年生から6年生については、入院及び調剤は医療費自己負担分の全額を助成し、通院(診療)については、通院1回あたり500円を超えた額を助成します。(拡充)

### 質の高い保育・幼児教育の推進

#### 認可保育所等の受入枠の拡大

41,454,352千円

○認可保育所の新設等により、保育受入枠の拡大を図ります。(拡充)

・294か所 23,945人 → 323か所 25,575人 (29か所 1,630人増)

○地域型保育事業の新設等により、保育受入枠の拡大を図ります。(拡充)

・51か所 534人 → 60か所 706人 (9か所 172人増)

○低年齢児の定員を超えた受け入れが図れるよう、保育所に対し保育補助者の雇上げを支援します。(新規)

○待機児童解消のため緊急的に対応する施策として、年度限定型保育事業を新たに実施します。(新規)

・16か所 90人分

○民間保育所職員等への給与改善を支援します。(拡充)

○市内一律の保育所等への賃借料補助を地域や駅からの距離等に応じた制度とします。(拡充)

○多様な保育ニーズに対応するため、認可保育所における一時保育事業の拡充を図ります。(拡充)

・64か所 → 70か所 (6か所増)

#### 認可外保育施設への支援の充実

4,096,078千円

○川崎認定保育園への援護費を拡充し、保育を必要とする保護者へ保育料を補助します。(拡充)

・助成対象者 4,171人分 → 4,322人分 (151人分増)

○川崎市医師会と連携し、市内全区で病児・病後児保育事業を実施します。(拡充)

・6か所 → 7か所 (1か所増)



保育園の様子

### 幼児教育の推進

3, 772, 432千円

- 私学助成を受ける私立幼稚園に就園する園児の保育料等の補助を行い、幼児教育の振興を図ります。幼児教育の段階的無償化に向けた取組に伴い、補助単価の改定を行います。(拡充)
- 幼稚園の認定こども園化を推進し、保育受入枠の拡大を図ります。(拡充)
  - ・3か所260人 → 4か所305人(1か所45人増)
- 幼稚園における保育ニーズに対応するため、8時間以上の預かり保育を推進します。(拡充)
  - ・21か所 → 40か所(19か所増)
- 幼稚園における特別支援教育研究研修事業へ補助することで、特別な支援を必要とする子どもを積極的に受け入れている幼稚園の支援を行います。

### 保育士確保対策の充実

555, 145千円

- 保育士確保のため、保育士宿舎借り上げ支援事業について、認可保育所等への支援充実と、川崎認定保育園への支援を新たに行います。(拡充)
- 保育士修学資金や潜在保育士就職準備金の貸付を実施します。(新規)
- 保育士養成施設の学生や潜在保育士等に向けた就職説明会、保育所見学バスツアー等について、実施内容の充実を図り、求職者と求人事業者のマッチングを支援します。

### 認可保育所等の整備の推進

5, 031, 096千円

- 30年度の保育受入枠の拡大に向けて、認可保育所や小規模保育事業所の整備を行います。
  - ・1,686人分(認可保育所28か所1,515人、小規模保育事業所9か所171人)
- 認可保育所等の整備促進のため、民間事業者活用型や小規模保育事業所の整備費補助単価を充実します。(拡充)

## 子どものすこやかな成長の促進

### 母子保健指導・相談の推進

159, 807千円

- 育児に対する負担感が大きい母子を対象に、助産所等を活用して心身のケアや育児のサポートを行うとともに、各区に母子保健コーディネーターを配置して、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施します。

## 子どもが安心して暮らせる支援体制づくり

### 児童虐待防止対策の推進

114, 022千円

- 改正児童福祉法に基づく児童相談所の体制強化として、児童福祉司や児童心理司の増員を行うとともに、新たに非常勤弁護士を配置します。(新規)
- 子育て短期利用事業において、半日単位のデイスティ利用など、保護者の育児負担軽減を目的とした支援を充実します。(拡充)

### ひとり親家庭の生活支援

4, 100, 606千円

- ひとり親家庭等の子ども(小学校3年生から6年生まで)を対象として、学習習慣の定着も含めた基本的な生活習慣の習得や親以外の大人との関係づくり等に向けた支援を行います。また、親を対象に、子育ての負担軽減に向けて地域との関係づくり等の支援を行います。(新規)
- ひとり親家庭への支援施策を紹介する冊子の作成など、施策周知の取組を推進します。

### 子ども・若者支援の推進

88, 483千円

- 全6か所の児童家庭支援センターで、乳児院併設型においては、育児不安等がある乳幼児期の保護者を中心とした育児支援プログラムを、児童養護施設併設型においては、支援を必要とする学齢児を中心とした支援を実施します。

# まちづくり局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2939 内) 35101

26,086,451千円

(対前年度比:△5.2%)

## <主な事業>

### 魅力にあふれた広域拠点の形成

#### 川崎駅周辺地区の整備

5,835,836千円

- 「川崎駅周辺総合整備計画」に基づき、安全・安心で魅力ある広域拠点の形成を推進します。
  - ・JR川崎駅北口自由通路等整備工事(29年度供用開始予定)
  - ・ミューザ川崎とラゾーナ川崎東芝ビルを接続する堀川町C地区連絡ペDESTリアンデッキ整備工事(29年度完成予定)
  - ・「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づく民間開発の誘導と基盤の再編整備の推進

#### 小杉駅周辺地区の整備

1,387,237千円

- 民間活力を活かした市街地再開発事業等により、駅周辺に公共・公益施設等をコンパクトに集約し、魅力ある広域拠点の形成を推進します。
  - ・小杉町3丁目東地区市街地再開発事業(31年度完成予定)



JR川崎駅北口自由通路



小杉町3丁目東地区

### 個性を活かした地域生活拠点等の整備

#### 登戸土地区画整理事業の推進

5,511,315千円

- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区については、集団移転手法を活用した事業展開により土地区画整理事業の早期完成を目指し、魅力ある地域生活拠点の形成を推進します。

#### 鷺沼駅前地区の再開発事業の推進

15,000千円

- 鷺沼駅前地区については、民間活力を活かしながら、駅を中心に様々なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化を推進します。(新規)

### 身近な交通環境の整備

#### 身近な地域交通環境の整備

9,762千円

- 「川崎市総合都市交通計画」に基づき、身近な地域で安全・快適に生活できるよう、地域交通環境の整備を推進します。
  - ・コミュニティ交通の導入に向けた支援(白幡台、岡上西など)
  - ・コミュニティ交通の本運行地区(高石、長尾台)における事業継続に向けた支援



## 地域の主体的な防災まちづくりの推進

### 密集市街地の改善に向けた新たな重点対策

88,497千円

○老朽木造住宅等が密集した市街地において、大規模地震時に人的・物的被害が特に大きいと想定される地区を不燃化重点対策地区に指定し、建築物を建築する際の不燃化を条例で定めるとともに、老朽建築物の解体工事や燃えにくい建築物の新築工事等への助成制度を拡充する新たな重点対策を展開します。(拡充)

### 防災まちづくり支援の推進

6,005千円

○災害時に大きな延焼被害等が想定される地区において、防災専門家やコンサルタント派遣を行いながら、防災意識の醸成や自助・共助(互助)による地域主体の防災まちづくりを推進し、地域防災力の向上による災害に強いまちづくりを支援します。(拡充)

## まち全体の総合的な耐震化の推進

### 民間建築物等の耐震化の推進

409,125千円

○木造住宅や民間マンション、特定建築物について、耐震診断・改修工事等の助成を行うとともに、擁壁の築造等に対する宅地防災工事等への助成などの取組により、災害に強いまちづくりを推進します。

- ・木造住宅の部分改修工事、耐震シェルター・防災ベッド設置への助成
- ・耐震診断を義務化した特定建築物(通行障害建築物)の耐震改修工事等への助成

## ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

### ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

3,700千円

○バリアフリー基本構想の改定や、ユニバーサルデザインタクシーの普及を促進します。

### JR南武線の駅アクセス向上

698,366千円

○JR南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅について、誰もが利用しやすい交通環境の整備を推進します。

- ・稲田堤駅及び津田山駅の橋上駅舎化並びに中野島駅の暫定的な臨時改札口に関する取組等

## 誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備

### 住宅施策の推進

8,557,271千円

○市営住宅等の適正な管理運用、既存の民間賃貸住宅を活用した入居支援等を進めるとともに、改定した「住宅基本計画」に基づき、誰もが安心して暮らせる住宅施策を推進します。

- ・空き家を活用した交流の場づくり等(モデル事業)の検討・実施
- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく、市営住宅の建替え(末長住宅ほか5団地)

## 安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進

### 庁舎等建築物の長寿命化対策

214,575千円

○計画的で適切な施設保全により、庁舎等建築物の長寿命化を推進します。

- ・大規模施設における中長期保全計画の策定、劣化状況等の把握、工事優先度の判定の実施
- ・予防保全による効果の大きい大規模5施設(港湾振興会館、高津区役所、第3庁舎、とどろきアリーナ、多摩区総合庁舎)における、長寿命化対策工事の実施

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 建設緑政局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-2785 内) 38201

**34,786,474千円**

(対前年度比: +3.0%)

## <主な事業>

### まち全体の総合的な耐震化の推進

#### 橋りょう耐震化の推進

298,000千円

○安全性を確保し、地震災害に強い都市基盤を整備するため、比較的規模の大きい橋に加え、市民生活において重要な生活道路などの橋りょう耐震化を実施します。

### 地域の生活基盤となる道路等の維持・管理

#### 道路、河川等維持補修事業の推進

2,424,076千円

○道路等について、適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。

○河川護岸等の老朽化対策として、平瀬川の護岸改修をはじめとした維持補修を進めます。

### 安全・安心な暮らしを守る河川整備

#### 五反田川放水路の整備

1,878,696千円

○五反田川の洪水全量を地下トンネルで直接多摩川に放流する放水路の整備を引き続き実施し、洪水被害の軽減を図ります。

#### 河川改修事業等の推進

153,195千円

○水害から市民の生命・財産を守るため、平瀬川支川及び三沢川の未改修箇所について、時間雨量50mmの降雨に対応する改修を進め、治水安全度の向上を図ります。

○水防法の改正による新たな洪水浸水想定区域図の公表に伴い、住民避難に活用されることを主な目的とした洪水ハザードマップに改定します。

### 交通安全対策の推進

#### 安全施設整備の推進

414,369千円

○歩行者の安全確保や道路交通の円滑化を図るため、歩道の設置や横断防止柵の補修等を実施します。また、舗装のカラー化や見通しの悪い交差点の形状変更等の改良を実施します。

#### 放置自転車対策の推進

1,216,562千円

○自転車等の放置を防止し、歩行者の通行の安全や災害時における緊急活動の場の確保を図るため、駐輪場を整備し、駐輪場の利用促進や放置自転車の撤去等を実施します。また、川崎駅東口周辺地区における総合自転車対策を推進します。

### 協働の取組による緑の創出と育成

#### 都市緑化の推進や公園緑地の管理運営の推進

363,177千円

○緑あふれる都市環境の向上をめざし、市民の植樹運動など、市民、事業者、NPO等との協働により、緑を創出するさまざまな取組を進めます。

○大規模な公園緑地の管理運営を指定管理者により実施するとともに、身近な公園緑地の管理運営を推進します。

## 魅力ある公園緑地等の整備

### 公園緑地等の整備

712,637千円

○大規模公園やその他の公園緑地について、整備に向けた取組等を推進します。

### 等々力緑地の再編整備

110,663千円

○「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、等々力緑地の再編整備を推進し、緑地内の施設の充実を図ります。

## 多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進

### 多摩川緑地の魅力向上や協働による多摩川の魅力発信

403,678千円

○「川崎市新多摩川プラン」に基づき、多摩川緑地の整備及び維持管理を行います。

・サイクリングコースの延伸整備 など

○市民との協働や流域自治体との連携により、環境学習や体験活動の取組を推進し、様々な機会を通して多摩川の魅力を発信します。



多摩川での環境学習の様子

## 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

### 羽田連絡道路の整備推進

5,821,437千円

○羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、成長戦略拠点の形成を図るため、キングスカイフロントと羽田空港を結ぶ、羽田連絡道路の整備を実施します。(拡充)



羽田連絡道路

## 広域的な交通網の整備

### 広域幹線道路網の整備推進

997,181千円

○市内の都市機能強化に向け、広域幹線道路網の整備に向けた取組を実施します。

・国道357号をはじめとする国直轄道路の整備促進(拡充)

・川崎縦貫道路関連調査等の実施

## 市域の交通網の整備

### 道路改良事業の推進

6,655,142千円

○広域拠点や交通結節点の機能強化、骨格的な幹線道路ネットワークの形成を図るため、国道409号や都市計画道路世田谷町田線をはじめとする幹線道路の整備を推進します。

### 橋りょう整備事業の推進

624,571千円

○交通の円滑化、利便性の向上や防災機能の強化を図るため、(仮称)等々力大橋や末吉橋等の整備を推進します。

### 連続立体交差事業の推進

6,601,833千円

○複数の踏切を除却する連続立体交差化により、道路交通の円滑化、環境の改善及び地域分断の解消等を図ります。

・京浜急行大師線1期区間(小島新田～東門前)の連続立体交差化に向けた整備

・JR南武線(矢向駅～武蔵小杉駅間)の連続立体交差化に向けた取組

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 港湾局

## <予算額>

問合せ先:庶務課 200-3048 内) 41101

**一般会計 8,118,992千円** (対前年度比:△33.6%)

**港湾整備事業特別会計 2,360,059千円** (対前年度比:△25.9%)

## <主な事業>

### 災害・危機事象に備える対策の推進

#### 港湾の防災・減災対策の推進

一般会計 646,547千円

- 津波・高潮発生時の内陸部への浸水対策及び操作員の安全性を確保するため、海岸保全施設の改良を実施します。
- 災害発生時に緊急物資等の輸送機能を確保するため、千鳥町7号岸壁の耐震改修を実施します。
- 緊急物資等の輸送を円滑かつ確実にを行うため、緊急輸送道路の液状化対策(段差発生の抑制)を実施します。



海岸保全施設の改良

### 広域連携による港湾物流拠点の形成

#### コンテナターミナルの利用促進・活性化

一般会計 3,682千円

港湾整備事業特別会計 1,136,552千円

- 増加するコンテナ貨物に対応するため、コンテナターミナル内のヤード整備を行うとともに、老朽化した荷役機械(トランスファークレーン)を更新します。(拡充)
- 国際コンテナ戦略港湾である京浜港(川崎港、東京港、横浜港)の国際競争力強化に向けた取組の一環として、新規荷主の獲得・航路の維持拡大等を目的とする「川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度」を実施します。



川崎港コンテナターミナル

- 横浜川崎国際港湾(株)と川崎臨港倉庫埠頭(株)か

らなる共同事業体をコンテナターミナルの指定管理者とし、それぞれの会社の特徴を活かし、一体的な管理・運営を行うことで、更なる貨物量の増加と効率的な運営を図っていきます。

#### 港湾施設の整備・維持管理

一般会計 615,593千円

- 高度経済成長期を中心に整備した護岸や係留施設等の港湾施設の老朽化に対応するため、中長期的な維持管理計画に基づき、定期的に点検を実施し、その結果を踏まえ、当該計画の更新及び補修工事を行います。

#### 川崎港海底トンネルの改修・維持管理

一般会計 439,382千円

- 東扇島と市街地を結ぶ唯一の連絡路であり、災害時には緊急輸送道路として機能維持するため、受変電室建屋等の耐震対策及び付帯設備の改修を行います。

### 臨港道路東扇島水江町線整備の推進

一般会計 3,366,900千円  
港湾整備事業特別会計 6,315千円

○交通需要の増加に対応する新たな交通機能の確保及び臨海部の災害時における輸送ルートの手代手段の確保を目的として、国の直轄事業による臨港道路東扇島水江町線の整備を推進します。また、関連事業として、東扇島内臨港道路の道路拡幅等、道路改良工事を推進し、混雑の緩和を図ります。

### 東扇島堀込部等の埋立・維持管理

一般会計 131,064千円  
港湾整備事業特別会計 183,895千円

○臨海部における企業活動の継続性を確保するため、東扇島堀込部の土地造成に向けた実施設計を行います。  
○市内公共工事から発生する建設発生土等を受け入れている浮島2期地区廃棄物埋立護岸の維持管理を行います。

### ポートセールス事業等の推進

一般会計 4,838千円  
港湾整備事業特別会計 18,243千円

○荷主等を対象に国内外でセミナーを実施するなど、中国・東南アジア方面との新規航路開設や既存航路の安定化に向けたポートセールスを官民一体となって推進します。  
○新たな港の賑わいの創出や地域経済の活性化が期待されるクルーズ船の寄港等について、受入れのための施設能力の調査や、効果を波及させるための課題と方策を検討します。

## 市民に開かれた安全で快適な臨海部の環境整備

### 魅力ある緑地・親水空間の形成

一般会計 293,389千円

○平常時は人工海浜やバーベキュー広場など、港に集う人々の憩いの場として、また災害発生時には基幹的広域防災拠点としての機能を有する東扇島東公園の適切な維持管理を行います。  
○みなと祭りや夜景ツアー等の拠点として、市民に親しまれている川崎マリエンの適切な維持管理を行います。  
○オリンピックを目指すビーチバレーボール選手の強化拠点である川崎マリエン内ビーチバレーコートでの維持整備を行います。



川崎港航空写真



人工海浜(東扇島東公園)



ビーチバレー 川崎市長杯  
川崎みなと祭り

※表内の図は完成予定のイメージです。

# 臨海部国際戦略本部

<予算額> 問合せ先:臨海部事業推進部 200-3738 内) 42101

613,695千円 (対前年度比: +8.7%)

## <主な事業>

### 臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

#### 臨海部の活性化推進

43,998千円

- 本市の「力強い産業都市づくり」の中心を担う臨海部の目指すべき将来像や、その実現に向けた戦略、取組の方向性を示す「(仮称)臨海部ビジョン」を策定します。また、臨海部の動向把握及び適切な土地利用誘導を行います。
- 臨海部の持続的な発展を牽引する臨空・臨海都市拠点である浜川崎駅周辺地域において、戦略的な土地利用の誘導を進めて活力ある拠点形成を推進するため、まちづくりの方向性など土地利用の検討を行います。(新規)
- 川崎臨海部の国内外における認知度の向上を図るため、メディアへのプロモーションやニューズレターの発行などを行うとともに、市内学校と連携した視察ツアーやサイエンスカフェを開催します。



力強い産業都市づくりを担う川崎臨海部



市内高校生が参加するサイエンスカフェ

#### 臨海部交通ネットワークの整備推進

4,146千円

- 臨海部の交通ネットワークの充実に向けた東海道貨物支線の貨客併用化等の検討や、鉄道利用の促進に向けた調査検討を行います。

#### 国際戦略拠点地区の整備推進

116,817千円

(28年度補正予算対応 35,000千円)

- キングスカイフロントを世界最高水準の魅力のある研究開発拠点とするため、良好な景観形成、研究者等の交流促進や国内外からの来訪者の利便性に配慮した機能など、国際戦略拠点に相応しい高水準・高機能な拠点整備の取組を推進します。
- キングスカイフロントの持続的な発展に向けて、国の「リサーチコンプレックス推進プログラム」を活用しながら、拠点マネジメント体制の構築、異分野融合研究によるイノベーション創出、次世代を担う人材の育成、拠点内の交流・連携促進、市内外の拠点との連携促進などを行います。(拡充)
- キングスカイフロントの拠点マネジメント体制構築を推進するため、交流ラウンジやミーティングスペース等の域内外の交流・連携を促進する場を整備します。(新規)【補正含む】

### 羽田空港周辺の拠点機能向上

4, 500千円

○キングスカイフロントと羽田空港周辺の連携を強化し、一体的な成長戦略拠点の形成を支えるバス等の新たなネットワークを検討します。あわせて、川崎臨海部や川崎駅等と羽田空港を結ぶバスの充実に向けた検討を行います。

### サポートエリアの整備推進

88, 250千円

○キングスカイフロントをはじめとした臨海部へのアクセス性を高める交通拠点機能の強化に向けて、産業道路駅前交通広場の整備に向けた取組を進めます。

○川崎臨海部の中央に位置する塩浜3丁目周辺地区において、市有財産を有効に活用しながら、サポートエリアとしてふさわしい土地利用を推進します。

## ナノ医療イノベーションの推進

### ナノ医療イノベーションの推進

334, 726千円

○ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営支援を通じて、がん細胞のみに取り込まれる機能を持たせたウイルスサイズのカプセル「ナノマシン」による新しいがんの治療法などの研究成果の実用化を進めます。



ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

## 「川崎水素戦略」に基づく取組の推進

### 「川崎水素戦略」に基づく取組の推進

12, 000千円

○水素エネルギーの積極的な導入と活用による「未来型環境・産業都市」の実現に向けて、国や関係自治体、企業等多様な主体と連携した水素・燃料電池のリーディングプロジェクトを創出・推進します。

○本格的な水素社会の実現を図るため、有機ケミカルハイドライド法を活用した水素サプライチェーンの構築に向けた取組を推進します。

○利用者のニーズに合った水素を安定的に臨海部及び周辺地域に供給するための、水素の製造、輸送、貯蔵、利用に至るパイロットシステムとなる「川崎水素ネットワーク」の構築に向けた検討を行います。（新規）



再生可能エネルギーと水素を用いた  
自立型エネルギー供給システム「H<sub>2</sub>O<sub>ne</sub>」  
（川崎マリエン）